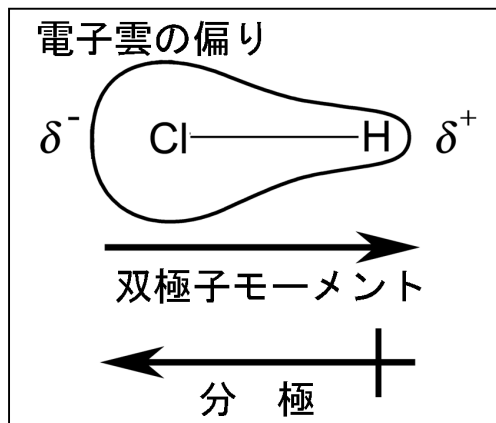


双極子モーメントと分極

化学結合を形成する二つの原子が異なる電気陰性度をもつときには、結合電子雲に偏り（分極）が生じ、負に帯電した部分と正に帯電した部分が生じます。双極子モーメントの方向は、- から + への方向を正にとります。このため矢印は、電気陰性度の高い原子（図中では Cl）から低い原子（図中では H）へと矢印をかきます。しかし、有機化学では、電子雲の偏り（分極）のほうイメージを捕らえやすいため、プラスのついた矢印（+ →）を用いて、+ から - 方向へ矢印をかきます。



つまり、双極子モーメントとは反対です。一部の教科書で、この表記方法の混同が見られますので注意してください。